

美濃陶磁歴史館だより



連続 コラム 第29回 私たちのまちの風景・思い出を集める
うちんたあのお宝、なんやね？

今年、開館44年を迎える当館は、老朽化に伴う建て替えの計画を進めています。新しい博物館では「美濃焼の歴史」と「土岐市の歴史」にまつわるあらゆる資料を集積し、地域を知り楽しむ場として、皆さんに親しまれる博物館を目指しています。そして、より充実した博物館とするための要となる取り組みが、地域資料の収集です。これまで当館が収集してきた資料の多くは、当地の主要産業である美濃焼に関連したさまざまな時代の陶磁器です。さらに、これからは、古文書や民具、美術品、写真など「この地に暮らす人々がいかに生きてきたか」を物語る多様な資料の収集にも力を入れていきます。

その活動の一つとして、昨年度から広報やSNSなどで昔の写真の情報を提供を呼び掛けています。現在までに土岐津町、泉町、下石町の昭和時代の暮らしの風景が写った写真が200枚以上集まりました。土岐市は、昭和30年に旧8カ町村が合併してできたまちです。町村合併以前からそれぞれの地域に積み重なった歴史があり、祭りや風習、年中行事など、地域によって独自の变化を遂げたものもあるはずですよ。それぞれの地域らしさが寄り集まって、土岐市らしさが形作られています。市内各所の地域の風景や暮らしの様子など、思い出が詰まった写真の情報を引き続きお待ちしています。



土岐津町 穴弘法(昭和時代初頭)



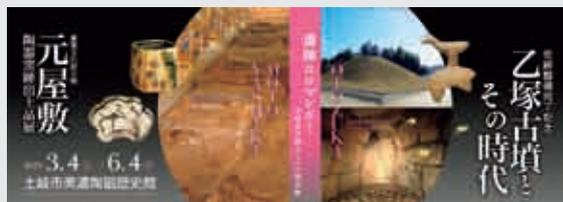
下石町 薪置き場(昭和30年代)



泉町 窯焼きの様子(昭和10年代頃)

イベント
のご案内

美濃陶磁歴史館
(☎55-1245)



会期：3月4日(土)～6月4日(日)

次回企画展

開館44年収集の軌跡 I
「○△□ 美濃桃山陶の形」

会期：6月10日(土)～9月3日(日)